



# ステップキット（ストリートタイプ）取扱説明書

商品番号	06 13 0001
適合車種およびフレーム番号	モンキー、ゴリラ：Z50J-1300017～ AB27-1000001～ モンキーBAJA：Z50J-1700001～

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。  
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品は、上記適合車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。  
当製品は、10インチ/12cmロングスイングアームまたは、10インチ/16cmロングスイングアーム専用となっております。他の組み合わせはサイドスタンドキットが無い為、取り付け出来ません。  
当製品の取り付けには、上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。  
他社製スイングアーム取り付け車両には、使用出来ません。  
当製品を取り付けるには、ノーマル左クラックケ-スカバ-を加工する必要があります。もしくは当社製品の12V用ジェネレーターカバー(ダイカスト製)をご使用下さい。  
当製品を取り付けると、当社製トルネードマフラー(04-02-0811)が使用出来ません。  
当製品を取り付けると、ノーマルのキックスターターアームが使用出来なくなります。別売りの当社製キックスターターアーム(09-10-004)をご使用下さい。  
ストリートで使用される場合はサイドスタンドキット(10インチ用：09-12-035)をご使用下さい。

ここに示した注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を示しています。製品を正しくお使い頂き、貴方や他の人々への危険や損害を防止するためのもので、いずれも安全に関する重要な内容です。必ずお守り下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)

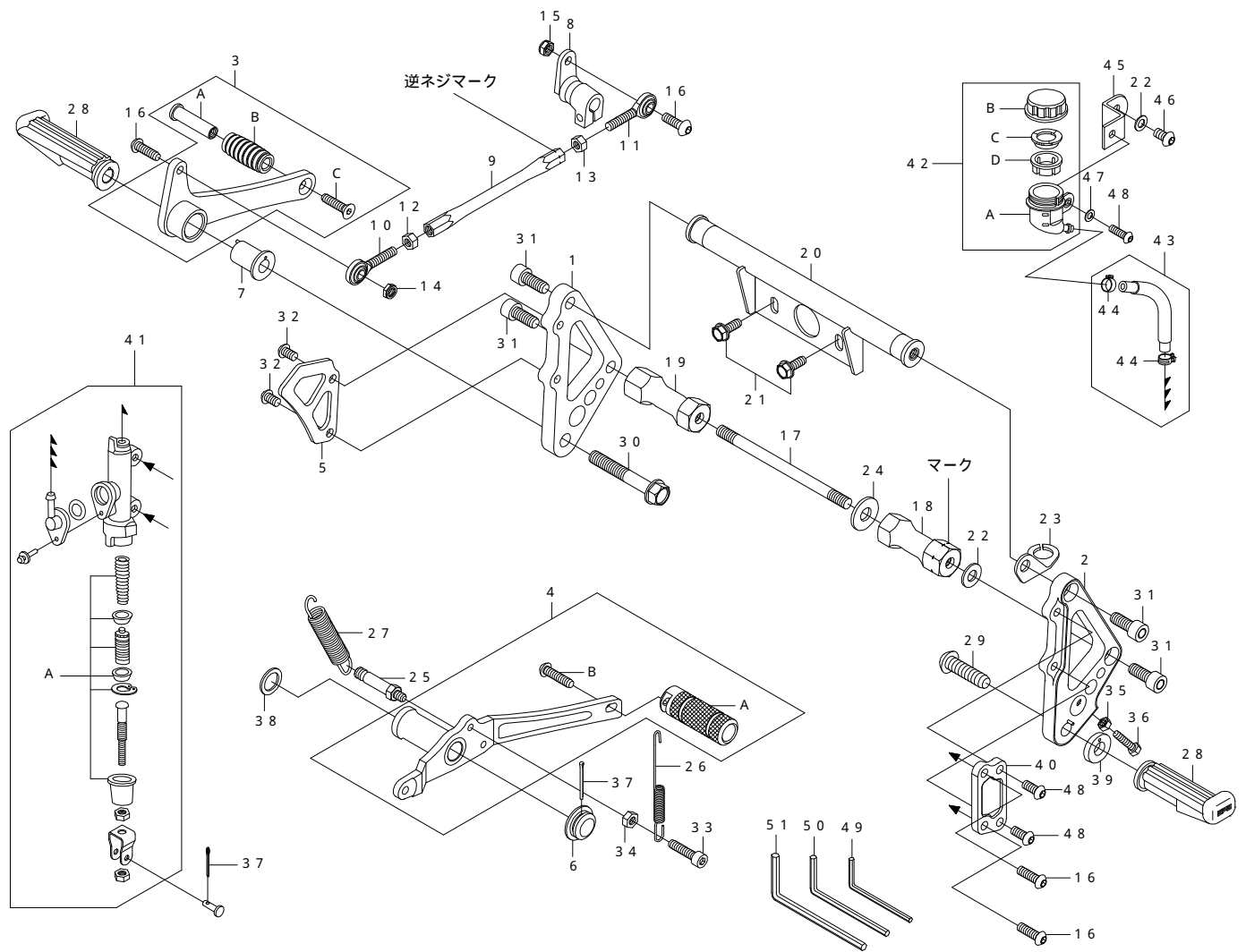
**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・この製品の取り付けには、加工を伴います。加工作業をする際は、目、顔、手を、必ず保護して作業を行って下さい。  
(目にキリコが入った場合、失明の恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。  
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場などで行って下さい。  
(事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。  
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。修理又は、交換にかかる一切の費用は対象となりません。正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。  
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

## ～特徴～

- ・このバックステップキットは、ストリートユ-スを前提に最適なライディングポジションを考え、設計しております。また、ステップをラバータイプにするなど、レ-ス用としても使用出来ます。シフト時の操作性を高めるため、チェンジペダル可動部にはドライベアリングを採用しております。ホルダ-部及びチェンジペダル等は、高強度ジュラルミンA2017材を、マシニングセンタ-で削り出し、アルマイト処理を施しています。ストップランプスイッチはノーマルのものが使用出来ます。



番号	部品名	数量	リペア品番	入数	番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	LホルダーCOMP.	1	50711-181-T00-C	1	27	ブレーキペダルスプリング	1	46514-181-T00	1
2	RホルダーCOMP.	1	50632-181-T00-C	1	28	ステップ	2	50601-MJ6-T00	1
3	チェンジペダルアームCOMP.	1	24702-181-T00-C	1	29	ボタンヘッドソケットスクリュー 10×35 (P1.25)	1	0000-0007	1
3 A	ペダル	(1)	24701-181-T00	1	30	フランジボルト 10×60	1	BW-00-0073	1
3 B	ペダルラバー	(1)	06-08-0005	1	31	ソケットキャップスクリュー 8×20	4	BW-00-0031	4
3 C	ボタンヘッドスクリュー 6×25	(1)	BW-00-0092	4	32	ボタンヘッドスクリュー 6×12	2	BW-00-0038	5
4	ブレーキペダルアームCOMP.	1	46500-GEF-T00	1	33	ソケットキャップスクリュー 6×20	1	BW-00-0015	10
4 A	ブレーキペダル	(1)	24708-181-T01	1	34	6角ナット 6mm (両面取り)	1	0000-0004	5
4 B	ボタンヘッドスクリュー 6×25	(1)	BW-00-0033	5	35	6角ナット 5mm	1	0000-0002	5
5	ヒールガード	1	50721-GEF-T00	1	36	6角ボルト 5×20	1	BW-00-0070	5
6	ブレーキペダルアームシャフトキャップ	1	90302-181-T00	1	37	副ピン 2×25	2	0000-0008	10
7	チェンジペダルカラーCOMP.	1	24740-GS9-T00-C	1	38	スベサー 14×23×1.6	1	90503-181-T00	1
8	チェンジアーム	1	24702-181-T00	1	39	ライトステップスベサー	1	50610-GEF-T00	1
9	チェンジロッド	1	24731-GEF-T00	1	40	マスターシリンダーブラケット	1	43512-GEF-T00	1
10	ロッドエンド	1	POS6ECR	1	41	リアマスターシリンダーASSY.	1	06-08-1731	1
11	ロッドエンドL (逆ネジ)	1	POS6ECL	1	41-A	マスターシリンダーピストンSET	(1)	06-08-0012	1
12	6角ナット 6mm	1	BW-02-0005	10	42	リザーバータンクCOMP.	1	06-08-0006	1
13	6角ナット 6mm L (逆ネジ)	1	BW-02-0018	10	42-A	カップCOMP.	(1)	06-08-0013	1
14	低ロックナット 6mm	1	0000-0005	5	42-B	キャップ	(1)	06-08-0007	1
15	ロックナット 6mm	1	BW-02-0002	10	42-C	ダイヤフラム	(1)	06-08-0008	1
16	ボタンヘッドスクリュー 6×20	4	BW-00-0010	5	42-D	ダイヤフラムプレート	(1)	06-08-0009	1
17	マウントシャフト	1	95701-165-T00	1	43	オイルホース	1	06-080-0008	1SET
18	マウントナットR (マーク入り)	1	95702-181-T01	1	44	ホースクランプ	2	000-03-053	1
19	マウントナットL	1	95703-181-T00	1	45	リザーバータンクステー	1	43610-181-T00	1
20	ホルダーステーCOMP.	1	95707-181-T01	1	46	ボタンヘッドスクリュー 8×15	1	BW-00-0098	1
21	フランジボルト 6×15	2	BW-00-0071	4	47	ブレーンワッシャ 6mm	1	BW-01-0001	10
22	ブレーンワッシャ 8mm	2	BW-01-0002	10	48	ボタンヘッドスクリュー 6×15	3	BW-00-0079	4
23	ストップスイッチステー	1	35351-GEF-T00	1	49	Lレンチ 4mm	1		
24	ブレーンワッシャ 10mm	1	BW-01-0004	10	50	Lレンチ 5mm	1		
25	スプリングフック	1	46515-181-T00	1	51	Lレンチ 6mm	1		
26	ストップスイッチスプリング	1	0006-0005	1					

リペアパーツはリペア品番にてご注文下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませ  
 お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp  
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

## ～ステップキットの取り付け要領～

キット内容をご確認下さい。

水平な場所でレーシングスタンド等で車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。

ノーマル部品を取り外します。

左クランクケ-スカバ-の3本のボルトを外し、左クランクケ-スカバ-を取り外します。STDブレ-キペダルのブレ-キロッドを止めている割りピン、ブレ-キリタ-ンスプリング、ストップスイッチスプリング、ブレ-キペダルを止めている割りピンを、それぞれ外し、STDブレ-キペダルを取り外します。ブレーキスプリング、ブレーキアームジョイント、アジャストナットを取り外し、ブレーキロッドを取り外します。リアブレーキアームをフランジボルトとナットを外して、取り外します。STDステップバ-を4本のボルトを外して、取り外します。リアストップランプスイッチをフレームから取り外します。STDキックスターアームをボルトを外して、取り外します。リアフェンダーをリアフェンダーセッティングボルト4本を外して、取り外します。



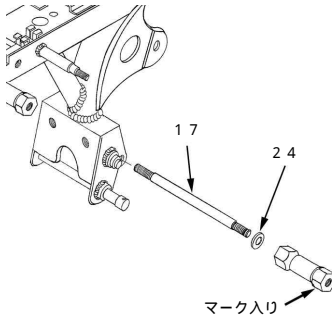
エンジンマウント下部のマウントボルトを取り外します。



取り外したエンジンマウントボルトの代わりにマウントシャフトを差し込み、マウントナットR(マーク入り)、プレーンワッシャ10mmをブレーキ側、マウントナットLをチェンジ側に取り付け、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 25 \text{ N} \cdot \text{m} (2.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



STD、左クランクケースカバーを使用する場合は、取り外した左クランクケ-スカバ-をマウントナットRに干渉する部分をリュー-タ-等で加工します。(加工後は、バリやカエリが無いようにヤスリ等でエッジ部を面取りして下さい。)加工した左クランクケ-スカバ-を取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

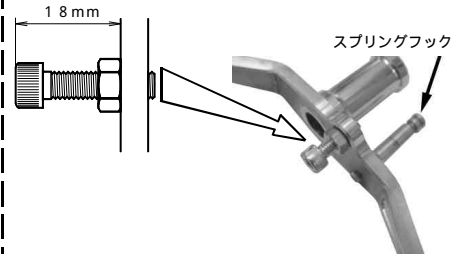
$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



ソケットキャップスクリュー6×2.0に六角ナット6mm(両面取り)を取り付けたものと、スプリングフックをブレーキペダルアームC O M P .のネジ穴に取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

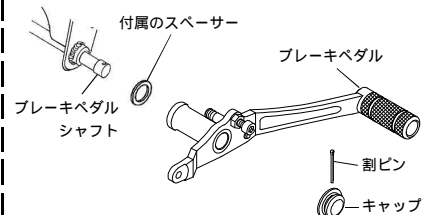


リアブレーキペダルのシャフトの汚れをきれいに拭き取り、グリスを塗布します。

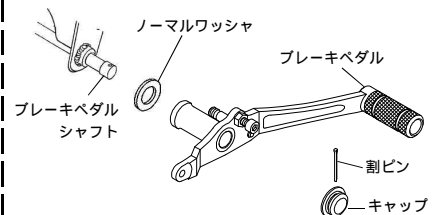


リアブレーキペダルのシャフトにブレーキペダルアームを差し込み、はみ出したグリスを拭き取ります。

AB27-1000001～の車両



Z50J-1300017～の車両

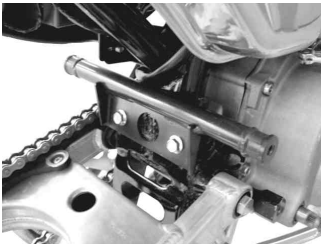


ノーマルフレームの誤差、使用状態により必ずしも当てはまらない場合がありますが、出来るだけノーマルワッシャ、付属のスペーサーを用いて、調整を行ってください。

リアブレーキペダルのシャフトにブレーキペダルアームシャフトキャップを差し込み、割りピン2×2.5を取り付けます。



リアフェンダ - が止まっていたフレ - ムのネジ穴に、ホルダ - ステ - をフランジボルト 6 × 15 2本で仮締めします。



Lホルダ - COMP にチェンジペダルカラ - COMP、チェンジペダルアームCOMP、ステップをフランジボルト 10 × 60 で取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 28 \text{ N} \cdot \text{m} (2.8 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



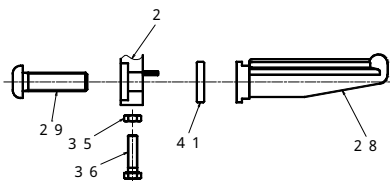
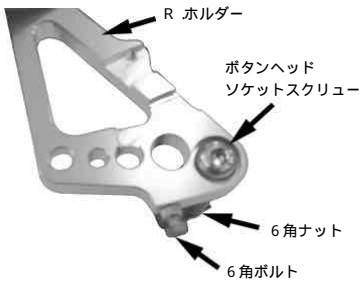
フランジボルト

Rホルダ - COMP にライトステップスペーサーとステップをボタンヘッドソケットスクリ - ュー 10 × 35 で図を参照にして取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 28 \text{ N} \cdot \text{m} (2.8 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

六角ボルト 5 × 20 に六角ナット 5mm を取り付け、Rホルダ - の側面のネジ穴に仮止めします。

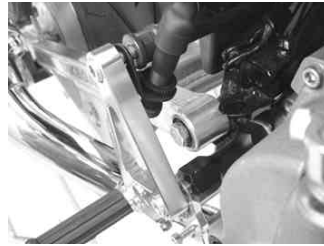


ストップスイッチステーにリアストップスイッチを取り付けます。



Lホルダ - をマウントナットとホルダ - ステ - 部にソケットキャップスクリ - ュー 8 × 20 2本で仮締めします。

マウントナット部にプレーンワッシャ 8mm、ホルダ - ステ - 部にストップスイッチステーがくるように次項目の状態の Rホルダ - をソケットキャップスクリ - ュー 8 × 20 2本で仮締めします。



両ホルダ - とホルダ - ステ - の位置決めをし、フランジボルト 6 × 15 2本とソケットキャップスクリ - ュー 8 × 20 4本を本締めします。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ソケットキャップスクリ - ュー 8mm

$: 23 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

フランジボルト 6mm

$: 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



Lホルダ - にヒールガードをボタンヘッドスクリ - ュー 6 × 12 で締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

Rホルダ - にマスターシリンダーブラケットをボタンヘッドスクリ - ュー 6 × 15 で締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

マスターシリンダーブラケットにマスターシリンダーをボタンヘッドスクリ - ュー 6 × 20 で締め付けます。

(ヒールガードを取り付ける事も出来ます)

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



ロッドエンド L (逆ネジ) に六角ナット 6mm L (逆ネジ) をねじ込み、チェンジロッドのマーク側に取り付け、ロッドエンドと六角ナット 6mm も同様に取り付けます。いっぱいまでねじ込んで下さい。

チェンジペダルアームのネジ穴にボタンヘッドスクリ - ュー 6 × 20 を締め込み、チェンジロッドのロッドエンドを取り付けて、低ロックナット 6mm を締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ボタンヘッドスクリ - ュー

$: 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

低ロックナット

$: 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



もう片方のロッドエンド部にボタンヘッドスクリ - ュー 6 × 20 を差し込み、チェンジアームCOMP を取り付け、ロックナット 6mm を締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



チェンジアームCOMP を上向きにジェネレーターカバーに干渉しないように取り付け、ノーマルのボルトを用いて締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



チェンジペダルを動かし、干渉を確認して下さい。干渉する場合は、セレーションをずらして取り付け直し、再度確認して下さい。

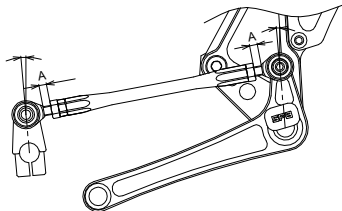
チェンジロッドを回して、チェンジペダルアームの角度を調整します。

(角度 が同じくらいになる様に取り付けて下さい。)

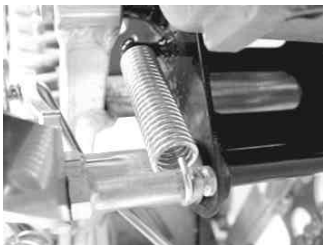
トルクロッドのA寸法が同じになる様に取り付け、六角ナットでロックします。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 8 \text{ N} \cdot \text{m} (0.8 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



ブレーキペダルスプリングをフレームのフックとブレーキペダルアームのスプリングフックの溝に取り付けます。



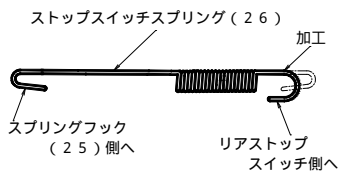
ブレーキペダルアームの角度を六角ボルト5×20で調整し、六角ナット5mmを締め付けてロックします。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 5 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



ストップスイッチスプリングをブレーキペダルアームの6mmネジ部に合うように加工し、取り付けます。



ブレーキペダルアームを踏み込んだ時にブレーキランプが点灯するようにストップランプスイッチを調整します。



シートを取り外します。

キャリアを取り外します。

当社製リアカウルキット取り付け車両は、リアカウルを取り外します。

当社製リアカウルキット取り付け車両はシートステーのタップ部にリザーバタンクステーをブレンワッシャ、ボタンヘッドスクリューを用いて取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 2.3 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$

キャリア取り付け車両は、キャリアが付いていたタップ部に、リザーバタンクステーを取り付けます。

オイルホースを取り回しを決めオイルホースをカットし、オイルカップのユニオンとマスターシリンダーCOMP.のコネクター部に取り付けホースランプで固定します。



オイルカップCOMP.にリザーバタンクステーをブレンワッシャ、ボタンヘッドスクリューを用いて取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 1.0 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



シートを取り付けます。

各部に付着した汚れをよく拭き取ります。

各部をもう一度規定トルクで増し締めし、確認を行います。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

## ブレーキホースの取り付け



マスターシリンダーに2.5°パンジョーをシーリングワッシャーで挟む様、パンジョーボルトで仮締めします。

リアキャリアに4.5°パンジョーをシーリングワッシャーで挟む様、パンジョーボルトで仮締めします。

ブレーキホースの取り回しが決まれば、パンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

### パンジョーボルト

$T = 13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m}$   
( $1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$ )

### フィッティング

$T = 5 \sim 6 \text{ N} \cdot \text{m}$   
( $0.5 \sim 0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m}$ )

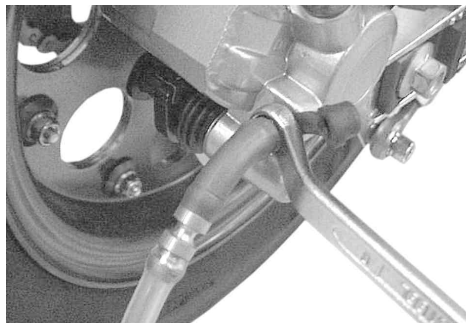


他の部分とブレーキホースが干渉しない様タイラップで固定し、余ったタイラップは、ニッパー等で切り取ります。

## エア抜き作業要領

オイルカップのキャップ、ダイヤフラムプレート、ダイヤフラムを取り外し、ブレーキフルードをオイルカップ上限線まで補給します。

△注意：ブレーキフルードを振ったりして気泡を混入させない事。



リアキャリアのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップ等で受ける様にします。

ブリーダーバルブを1/2回転緩めて、ブレーキペダルを踏み下ろす、放すを繰り返し操作し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの操作を繰り返します。

オイルカップのブレーキフルード液量に注意して、新しいブレーキフルード液を補充しながら作業を行って下さい。

ブリーダーバルブからエアが出なくなれば、ブレーキペダルを操作してエアの混入を確認します。

エアの混入が無ければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m}$  ( $0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m}$ )

オイルカップ上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、ダイヤフラムプレートキャップを取り付けます。

△警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。

万一付着した場合は、ブレーキパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。